



動物病院ニュースレター

2019年12月号

Merry Christmas & All the best in the New Year

今年も残すところあと1か月。
クリスマス、大晦日、お正月…慌ただしくも楽しい季節になりました。

ワンちゃん、猫ちゃん、ご家族で過ごす機会が多い時期でもあります。
この機会に今年を振り返って1年の感謝を伝えたりと
皆さんで素敵な年末をお過ごしください♪

大切なご家族を守るため 防災への備えは出来ていますか？

近年異常気象の影響もあり、災害も多く発生しています。
10月は史上最大となる台風19号の
日本列島直撃もあり大きな被害を受けた地域もありました。

台風上陸の前日から避難所設置を決定・開設する自治体も多く、
ペット同伴避難についての問題をめぐり、ネット上では議論が交わされていました。
その一部記事をご紹介します。

ダレノガレ明美、「動物置いていくななんて選択肢ないな」

<参照 : <https://www.j-cast.com/2019/10/14369980.html?p=all>>



2019年10月14日朝、「中1男子」というワードがツイッターのトレンド欄に上がった。

埼玉県川越市で浸水した自宅の2階から消防ボートで救助されたという中学1年生の男子生徒が「猫を飼っているので避難できなかった」と述べたという（14日朝日デジタル報道）。

男子生徒のケースが、避難所の受け入れ態勢によるものなのかは現時点では不明だ。

一方でネット上では、避難所へのペット同行について、意見が飛び交っている。

「ペットNGの避難所も多かったようで胸が痛みます」
「ペットも一緒に避難できる場所作って欲しい」
「ダメであれば予めダメと周知して欲しかった」
「アレルギーある自分からしたら避難所に犬猫がいられるのは困るかな」
「動物が苦手な人のために、ペット不可な避難所は必要だと思う」

動物愛好家であり、ペットを飼っているモデルのダレノガレ明美さんは12日、

「避難所、動物ダメらしく...悲しい。動物は置いてきてくださいって...」

とツイート。

前出の中1男子と同様に、ペットと自宅に残る選択をしたことがわかる。

「悲しいよね...動物置いていくななんて選択肢ないな...
アレルギー問題やいろんな問題があるから文句言えないけど、
私や家族は避難しないで家にいるのを選んじゃった」



<環境省の「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」によると>

「災害が起こった時に飼い主はペットと同行避難することが基本である」

「他の避難者への迷惑にならないように努めなければならない」と記載されています。

避難所には動物が苦手な人や、アレルギーの人もいることが想定され、

ペットの受け入れ方については、最終的には各自治体や避難所に委ねられているため一部で断られることがあり混乱を呼んでしまったようです。

一方で、さいたま市広報課の公式アカウントは 12 日、
Twitter でペットの同行避難を呼びかけており、飼い主から称賛を受けている。

ツイートによると、ペット専用スペースを設けたようだ。
迎え入れにあたり、ペットのケージ、食料などを準備するように促していた。

避難所生活のトラブル対策

ではいざ、災害が発生してペット同行避難指示がでたとき、
環境省のガイドラインにある
「他の避難者への迷惑にならないように努めなければならない」の
条件をクリアするために
具体的に何をすれば良いのか把握できていますでしょうか？

災害が起こった後の混乱状態では、できる対策は限られてしまいますので、
日ごろからの準備が大切ですね。

具体策を見ていきたいと思います。

◆迷子対策

1. 迷子札を使用する
2. マイクロチップを利用する

東日本大震災の時には、自治体で保護された犬と猫のうち、
迷子札や、マイクロチップを使用していた場合は、
100%飼い主が判明しました。

特にマイクロチップの普及率は年々増加しており、犬や猫の販売業者にはマイクロチップ
装着の義務が動物愛護法で定められており、すでに飼われている人にも装着の努力義務が課
せられています。

動物が保護された際、自治体や動物病院が専用のリーダーでマイクロチップの情報を読み取
り、すぐに飼い主さんに連絡をとることができます。

【マイクロチップのメリット】

- 首輪や迷子札のように外れる心配がない
- 耐久年数は約 30 年程度で、作動に電池は必要なし

◆鳴き声対策

日ごろのしつけが大切になってきます。

犬は、生後 3～4 ヶ月頃までを「社会化期」、5 ヶ月頃～1 歳頃までを「第 2 社会化期」と呼び、様々なことを学び吸収しながら人間社会で人と一緒に生活するためのルールを学ぶとても重要な時期です。



しつけについては、一度獣医師にご相談ください。

◆臭い対策

家で洗ってあげるか、定期的にトリミングに連れて行ってあげましょう。

◆ノミ発生予防

日ごろからのノミダニ予防が大切になりますので、まだノミダニ予防をしていない場合は、いまずぐ動物病院で対策をしてください。

◆補給物資対策

備蓄品には優先順位をつけ、優先度の高いものをすぐに持ち出せるように、人の避難用品とともに保管しておく必要があります。

環境省が公表している、「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」によると、ペット用の備蓄品と持ち出す際の優先順位の例として、最優先は“常備品と飼い主やペットの情報”となっています。

<緊急避難時用の持ち物例>

- 薬
- フード、水（できれば 7 日分以上）
- 予備の首輪とリード
- 食器
- ガムテープ（ケージの補修などに多用途に使用）
- 飼い主の連絡先と、ペットに関する飼い主以外の緊急連絡先情報
- ペットの写真（携帯電話への画像の保存も有効）



**備えあれば憂いなし！
大切なご家族を守るため、
来年の防災対策を見直しましょう！**

学べるワンニャン語クイズ

問題1：ワンちゃんが道端の草を食べるのはなぜ？（答えは次のページです。）

- ① 野菜不足解消！
- ② 草の苦みが好きなんです。
- ③ 胃の具合が良くない



問題2：猫ちゃんがもっとも食欲をそそられる温度は？（答えは次のページです。）

- ① アイスクリームみたいな冷たい食べ物
- ② ぬるい（30～40度）食べ物
- ③ ホカホカ焼き芋くらい熱い食べ物



プチ情報

ワンちゃんの写真を SNS にアップするとき、ドッグタグを隠しましょう

個人情報をいかに守るかと考えさせられるネット社会になりました。

ここで忘れられがちな個人情報の漏洩についてひとつ、お話しておきたいと思います。ペットの首輪のタグです。

SNS に自分のかわいいペットの写真をアップしたいのは当然理解できますが、



出典：<https://news.livedoor.com/article/detail/16968895/>

それと同時にタグに記載された住所や電話番号が映り込むことがあります。

電話番号くらい、と思うかもしれませんが、
嫌がらせのメッセージを送られたり、
勧誘商売などに番号が売られて、
ひっきりなしに電話がかかってきたりということもあります。

電話番号から個人情報を引き出すことだってできたりもします。

ペットの写真をアップしただけなのに、
個人情報を盗まれておおごとに発展するという恐れもありますので、
みなさん是非ペットの写真をあげるときは気をつけてくださいね。

過去の写真もチェックしてみましょう。

ワンちゃんクイズの答え

問題1：③

お散歩中に道端の草を食べるワンちゃんがありますが、
犬が意識的に栄養不足を解消しようと草を食べることはほぼありません。

原因は様々ですが、噛みちぎる感触が気に入って遊びで食べていたり、
胃の具合が悪くて胸やけしているという説などがあります。

問題2：②

猫に限らず動物はみんな「猫舌」（熱いものは苦手という意味）です。
火を使って調理することはないからです。
ですが冷たいフードは匂いがあまりしないので好みではありません。

食欲がわくのは捕りたてのねずみのような30～40度くらいなので、
猫ちゃんに缶詰を与えるときは常温もしくは少しレンジで加熱してあげると喜んでくれるはずですよ。

プチ情報

狂犬病予防接種せず、女性かむ 飼い主書類送検へ 警視庁

飼い犬を自治体に登録せず狂犬病の予防接種も受けさせていなかったとして、警視庁が近く狂犬病予防法違反容疑で、東京都瑞穂町の男性会社員（64）を書類送検する方針を固めたことが10月29日、捜査関係者への取材で分かった。

捜査関係者によると、男性が飼育していたのは中型の四国犬。

今年8月、瑞穂町の路上を男性が四国犬を連れて散歩中、通りかかった10代の女性の左太ももをかんでけがを負わせた。

110番通報で駆けつけた福生署員が男性から事情を聞いたところ、同法違反が発覚した。男性は調べに対し、容疑を認めているという。

書類送検容疑は、飼育していた犬を町に登録せず、狂犬病の予防接種も受けさせていなかったとしている。

厚生労働省によると、狂犬病予防法では、取得日から30日以内（生後90日以内の犬は生後120日以内）に飼育する犬を市区町村に登録した上で、年1回の予防接種を義務づけている。

このようなトラブルに備えて、犬の登録と、年一回の狂犬病予防ワクチン接種という飼い主義務は必ず守りましょう。

出典：<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20191029-00000618-san-soci>



プチ情報

猫ちゃんを魅了する「マタタビ」成分とは？！

ハーブの1種であるイヌハッカはネコを引きつけることで知られていて、「西洋マタタビ」「キャットミント」という別名で呼ばれることもあります。

イヌハッカは日本を含む世界中に自生するシソ科イヌハッカ属の植物。

古くから薬草として利用されているイヌハッカは、ネコに対しても大きな効果を持つハーブとしても知られていて、イヌハッカの香りを嗅いだネコは体をこすったり、地面を転がったり、声を出したりします。



イヌハッカには「ネペタラクトン」と呼ばれる物質が含まれています。コーネル大学獣医学部のネコ科保健センターに勤めるブルース・コーンライヒ氏によると、ネペタラクトンはネコの鼻に作用して、中枢神経系の活動を阻害するとのこと。

イヌハッカを嗅いだネコが酔っ払ったような行動を取るのは、ネペタラクトンが原因というわけです。

ネコがネペタラクトンに反応している姿はまるで麻薬で陶酔感を覚えている人間のように見え、多幸感に包まれているように見えます。しかしネコの脳内で具体的に何が起きているのかについては具体的にわかっておらず、大麻やモルヒネのように作用しているかどうかは証明されていません。

また、これまでは「およそ3分の1のネコはネペタラクトンに反応しないため、すべてのネコがネペタラクトンの影響を受けるわけではない」と考えられていたとのこと。

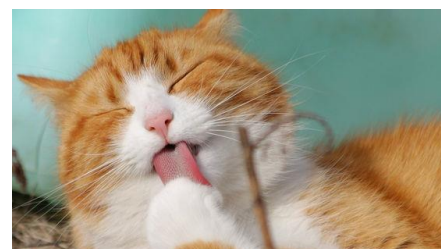
しかし、一見すると何も起こっていないようでも、ほとんどのネコはネペタラクトンに反応している可能性があるとして、コーンライヒ氏は指摘しています。

2017年に発表された研究では60匹の飼いネコを対象に、イヌハッカに対する反応の調査が行われました。

その結果、イヌハッカに対して寝転がったり声を出したりという能動的な反応を示したネコは全体のおよそ20%で、残りの80%のネコが「まるでスフィンクスのような体勢でうっとりする」という受動的な反応を示したことが判明。

「この研究の結果は、ほとんどのネコが何らかの形でイヌハッカの影響を受けていることを示唆しています」と、コーンライヒ氏は論じました。

なお、研究ではライオンやヒョウ、ジャガーなどのネコ科の動物もネペタラクトンに反応することが示されました。ただし、トラだけはなぜか影響を受けないことがわかっています。



出典 <https://news.livedoor.com/article/detail/17338076/>



ネコもよう図鑑

(浅羽 宏 著)



ネコのほっこり写真に癒されながら、模様が決まる遺伝のしくみがわかるサイエンス図鑑。

ネコの模様は毛色とその配置で決める遺伝子の組み合わせによってつくられる。

遺伝の仕組みにもとづいて模様を 11 パターンに分類し、写真で紹介。

その分け方で考えると、なぜその模様になるのかがよく理解できるのだ。

遺伝子といっても決して難しい解説書ではない。

出典 <https://www.amazon.co.jp>

「このネコはあの模様だからこの遺伝子か」というように、ネコのもう一つの見方を提供するものである。この本を読んだ後は、街で出会うネコたちが違って見えてくる。

写真を見て楽しい、遺伝がわかって楽しい、一挙両得の図鑑である。

道端で猫に出会うのが楽しみになる！